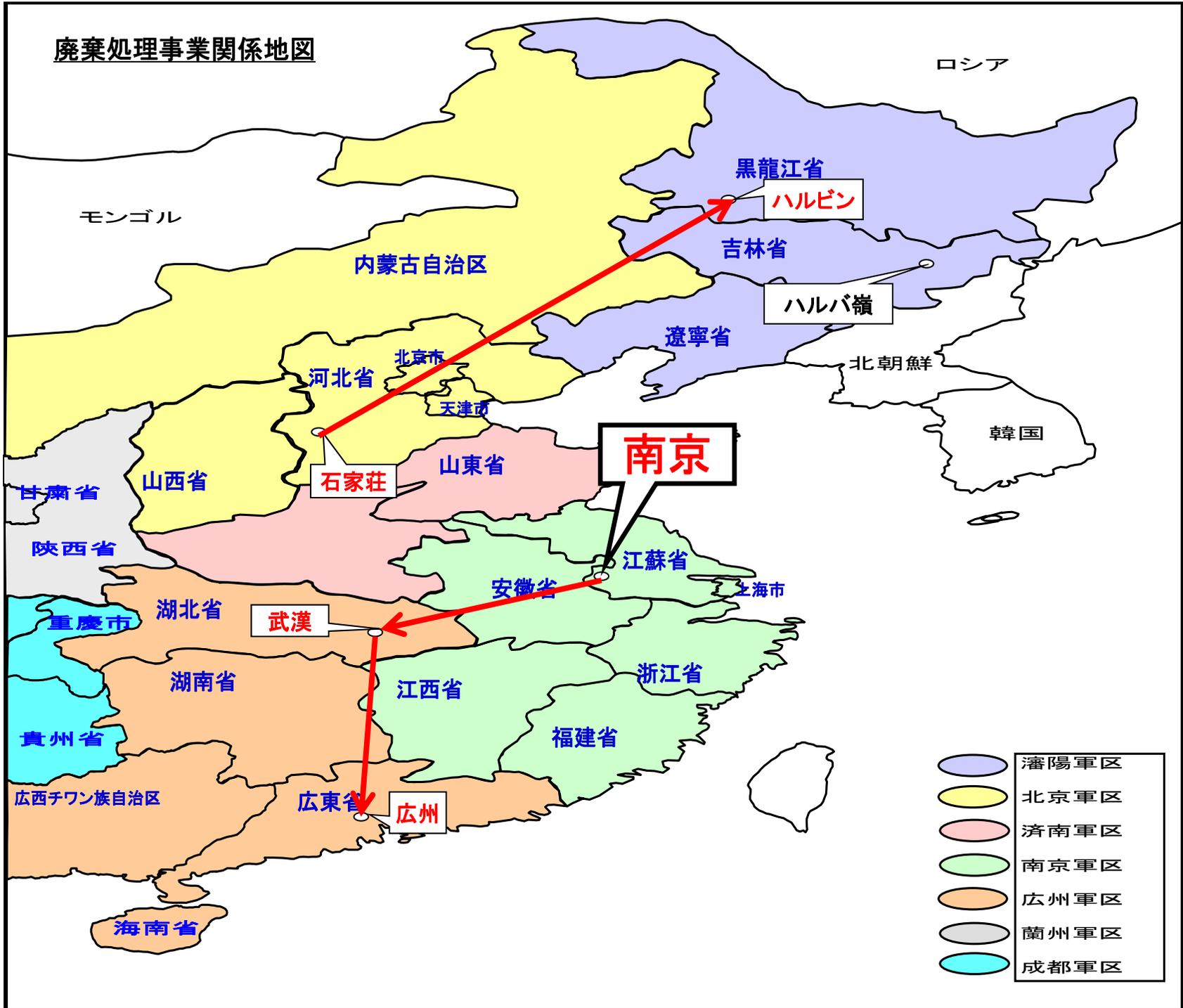

移動式廃棄処理事業について



平成24年 2月23日(木)
第9回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

廃棄処理事業関係地図



2011～2012年度 移動式処理事業の計画

↓
現在

No.	年月 事業	2011年			2012年												2013年				
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
南部移動式																					
1	南京市	砲弾等輸送 保守・点検			筒類廃棄	砲弾等廃棄	さい剤補給容器廃棄			廃棄物処理			除染・解体								
2	武漢市	-----																			
		計画作成等の協議																			
		各種建設工事																			
3	南部第三 処理場	-----																			
		計画作成等の協議																			
		各種建設工事																			
北部移動式																					
1	石家荘市	-----																			
		計画作成等の協議																			
		各種建設工事																			
		処理設備の輸送、据付・組立																			
		砲弾等廃棄																			
2	ハルビン市	-----																			
		計画作成等の協議																			
		各種建設工事																			

南京移動式処理事業について

1. 概要

南京市及びその周辺地域において発掘・回収された旧日本軍の遺棄化学兵器（約36,000発）について、移動式処理設備を用いて廃棄処理を行う。

2. 実施場所

江蘇省南京市

3. 実施体制

日中が、それぞれの現場代表者による指揮の下、作業団を編成し、廃棄処理作業にあたる。

4. 主な動き

- ・ 廃棄処理開始宣言（平成22年9月1日）、廃棄開始（平成22年10月12日）。
- ・ ウズムジュOPCW事務局長の南京訪問（平成22年11月、日中間の協力評価する旨のプレスリリース）
- ・ OPCWによる査察（第1回平成22年12月、第2回平成23年2月、第3回平成23年6月、第4回平成23年8月）
- ・ 平成23年11月下旬～12月下旬に砲弾輸送を実施（蚌埠、合肥、安慶及び杭州から南京へ）。
- ・ 平成24年1月6日、石田勝之副大臣の南京訪問（現地状況確認）。
- ・ 平成24年1月末時点で約35,600発(99.78%)の遺棄化学兵器を処理。

5. 今後のポイント等

- ① きい弾処理の開始（75mm9発、90mm4発、150mm1発（周辺から輸送した砲弾を含む））。
- ② きい剤補給容器（7個）の廃棄、廃棄処理後の廃棄物の処理。現在、中国側と調整中。

6. 今後の見通し

平成24年前半に化学兵器の廃棄を終了させる方向で中国側と調整中。

南京移動式処理事業について(きい剤補給容器廃棄)

【きい剤補給容器前処理設備の状況】

○直近の状況

きい剤補給容器前処理設備は調達済み。日本から中国へ輸出し、2月10日に上海港に到着。今後は、通関手続、中国国内輸送を経て、平成24年2月下旬に南京処理場へ搬入し、3月から据付を実施する予定。

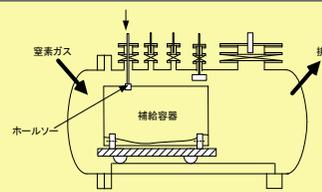


きい剤補給容器前処理設備

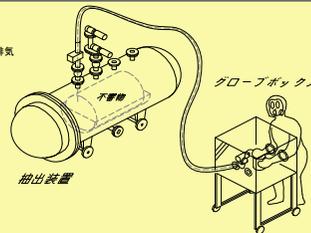
【きい剤補給容器廃棄の流れ】



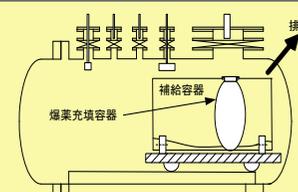
きい剤補給容器



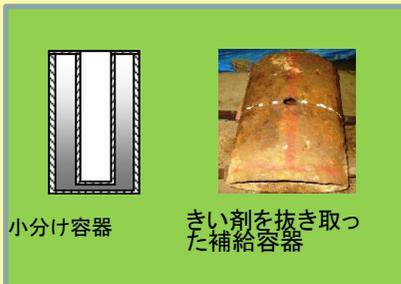
補給容器への穿孔



補給容器からのきい剤の抽出・小分け



きい剤を抜き取った補給容器を爆破するための加工



小分け容器

きい剤を抜き取った補給容器



南京移動式処理事業について(TOPICS)

1. 副大臣の南京訪問

- ・平成24年1月6日、石田勝之副大臣の南京訪問（現地状況確認）。



全体状況の確認



設備の確認



汚染管理区域内の確認

2. 砲弾輸送

- ・平成23年11月~12月、蚌埠、合肥、安慶、杭州の各保管庫の砲弾等を南京に輸送。

南京移動式処理事業について(砲弾輸送)



きい弾の搬入



あか弾の搬入



輸送砲弾の保管状況

中国南部に導入する遺棄化学兵器廃棄処理(移動式処理)事業について(武漢)

【第2処理場(武漢)進捗状況】

○直近の日中専門家協議

11月7日～10日に広州にて、各種計画についての協議を行った。

➤ 各種計画関連

モニタリング関連計画、安全管理計画、廃棄処理運用計画等について、今回提示した資料については概ね合意。

○工事等の実施依頼

- ・南京から武漢への施設建物転用計画等の作成について中国側に依頼
- ・砲弾輸送のためのルート調査及びリスク評価について中国側に依頼

【今後の見通し】

南京の処理事業が終了次第、武漢に設備の輸送・据付・組立を行い、試運転・処理運転を開始する。

中国南部に導入する遺棄化学兵器廃棄処理(移動式処理)事業について(広州)

【第3処理場候補地(広州)進捗状況】

○直近の日中専門家協議

11月7日～10日に広州にて、リスク評価大綱、用地選定に関する確認事項等について協議を行うとともに、候補地の現地調査を行った。

【今後の見通し】

広州候補地については、技術的には特段の問題はないものの、かなりの広さがあることから、土地利用料等が折り合わない場合、別の候補地を探す可能性のあることを条件に中国側と協議を進める。



広州候補地



広州保管庫

中国北部に導入する遺棄化学兵器廃棄処理(移動式処理)事業について

【第1処理場(石家荘)進捗状況】

○直近の日中専門家協議

1月17日～18日に北京にて、準備工事及び各種計画について、協議を行った。

- 準備工事関連: 処理設備基礎、管理棟等建物の設計案について、概ね合意。
- 各種計画関連: 試運転計画、モニタリング関連計画、砲弾輸送実施計画等について、概ね合意。

○処理場用地

昨年10月末より、アクセス道路敷設にかかる工事が行われている。



上図: アクセス道路敷設にかかる工事

中国北部に導入する遺棄化学兵器廃棄処理(移動式処理)事業について

【第2処理場(ハルビン)進捗状況】

○直近の日中専門家協議

第1処理場に関する協議に引き続き、1月18日に北京にて、主に施設配置計画について協議を行い、専門家間の合意を得た。

【今後の見通し】

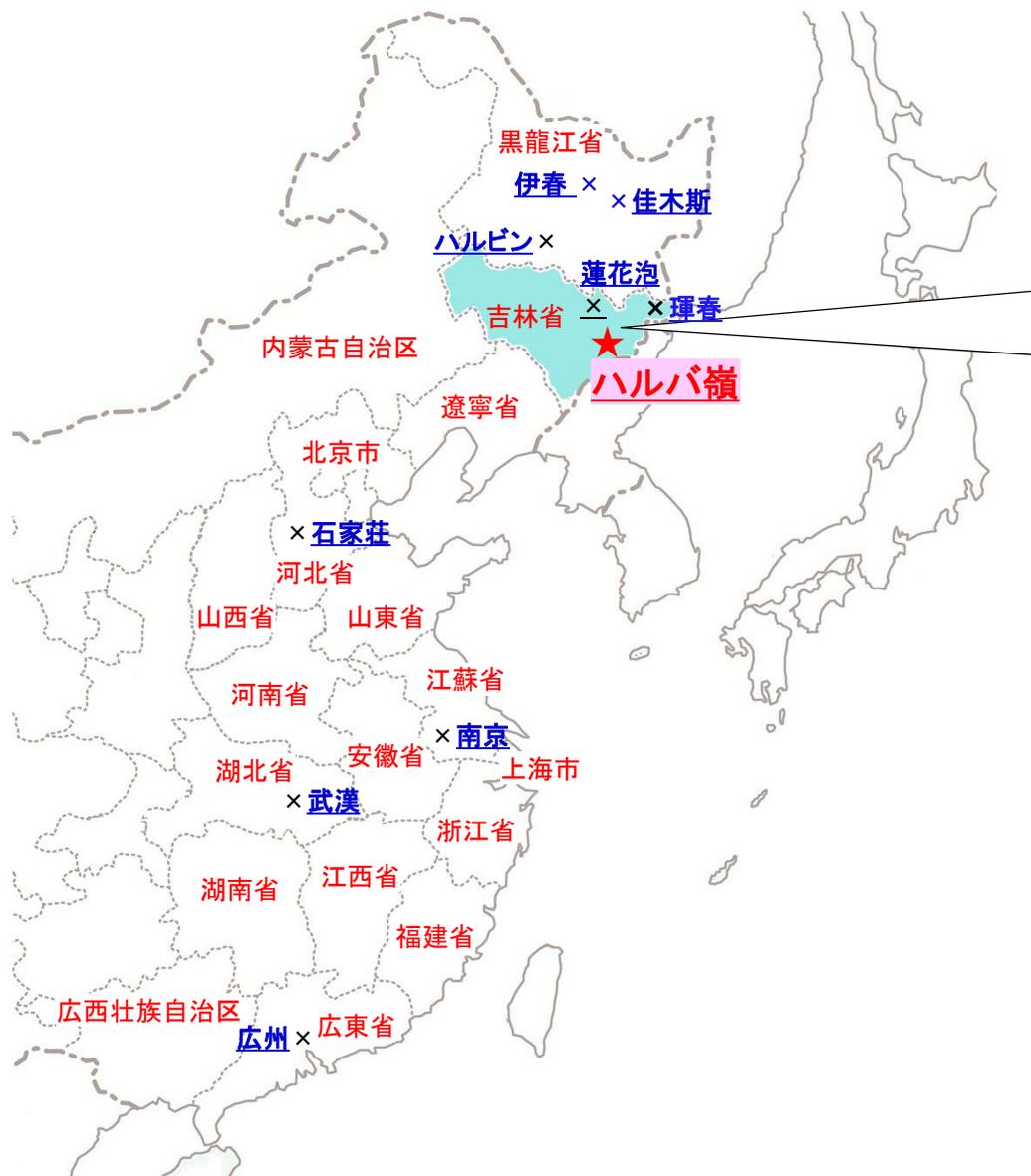
石家荘における準備工事が完了次第、処理設備を輸送し、据付・組立を行い、試運転・処理運転を開始する。
ハルビンについては、引き続き各種計画類の準備を進めるほか、アクセス道路や設備収納庫を含む場内の設計についても中国側と協議を開始する。

ハルバ嶺事業について



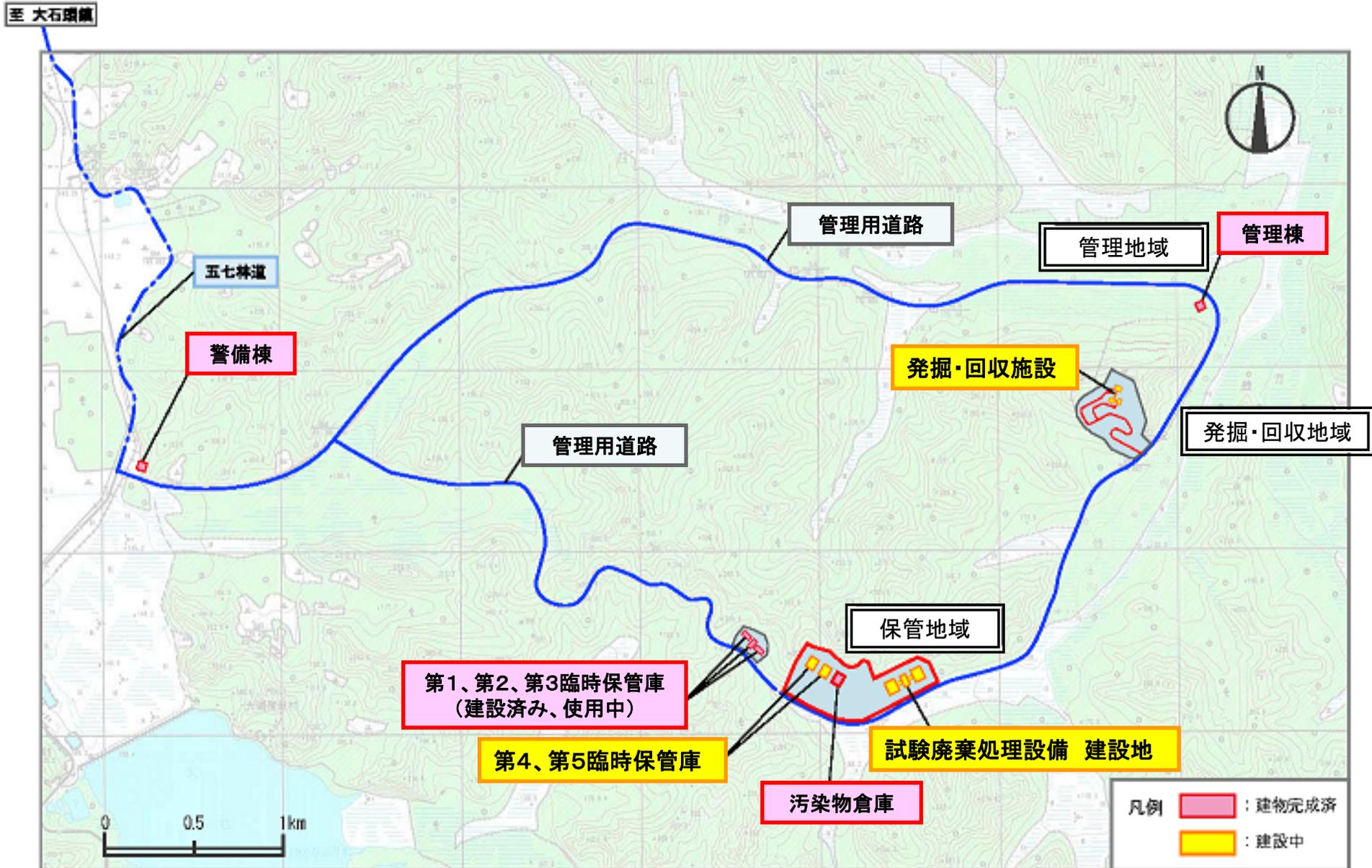
平成24年2月23日(木)
第9回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

平成23年度における遺棄化学兵器処理主要事業



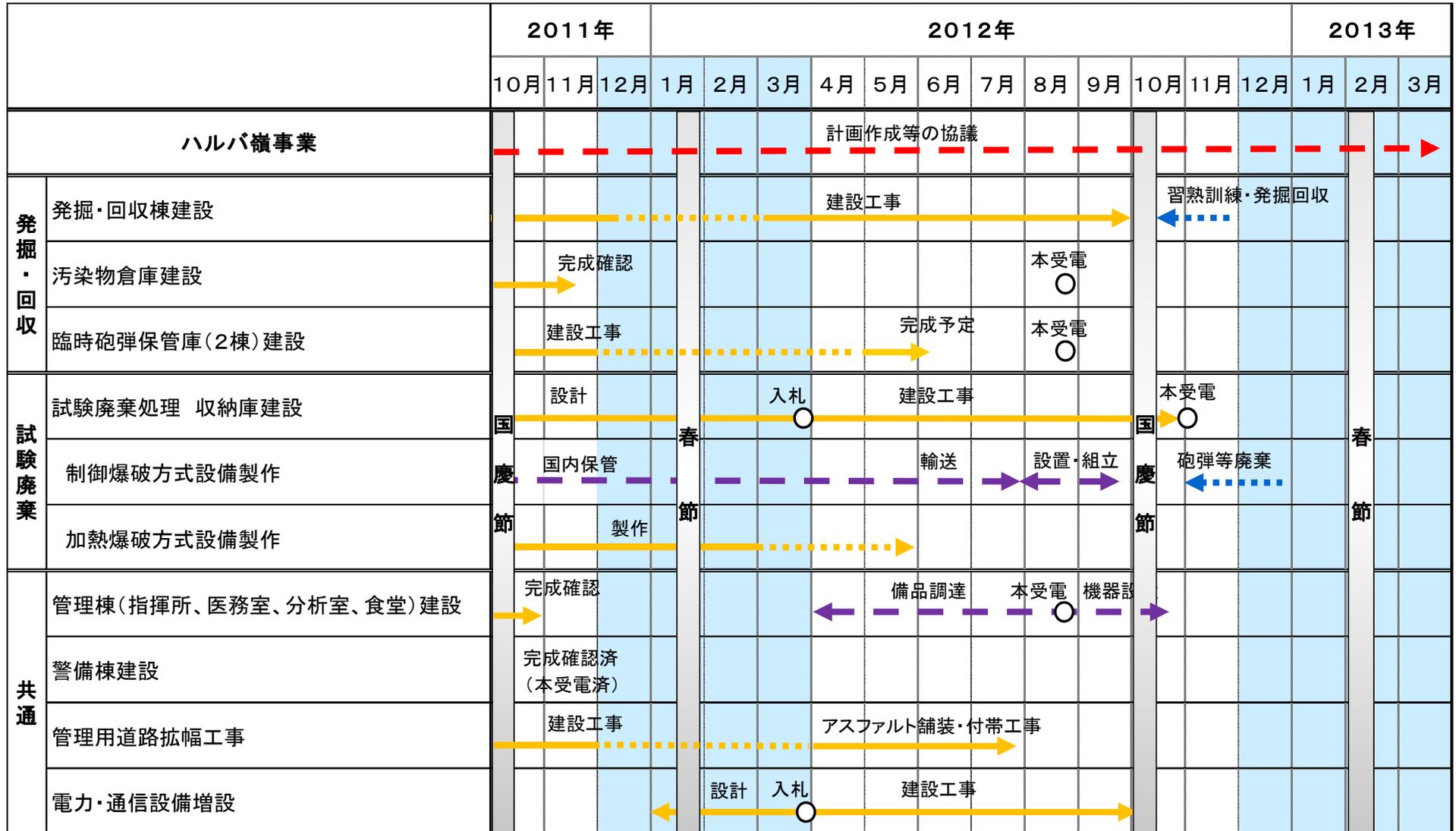
○ハルバ嶺地区における砲弾埋設数は、平成14年（2002）探査の結果、推定30～40万発。

ハルバ嶺事業関連施設 配置図



ハルバ嶺事業 進捗状況

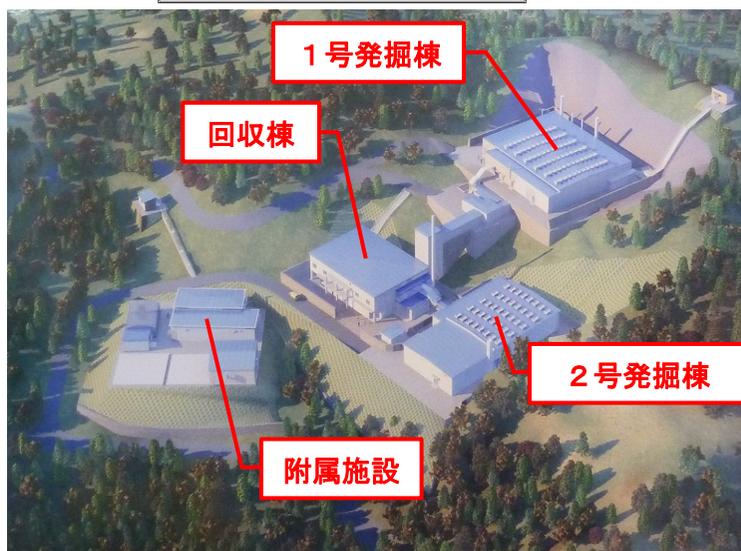
↓ 現在



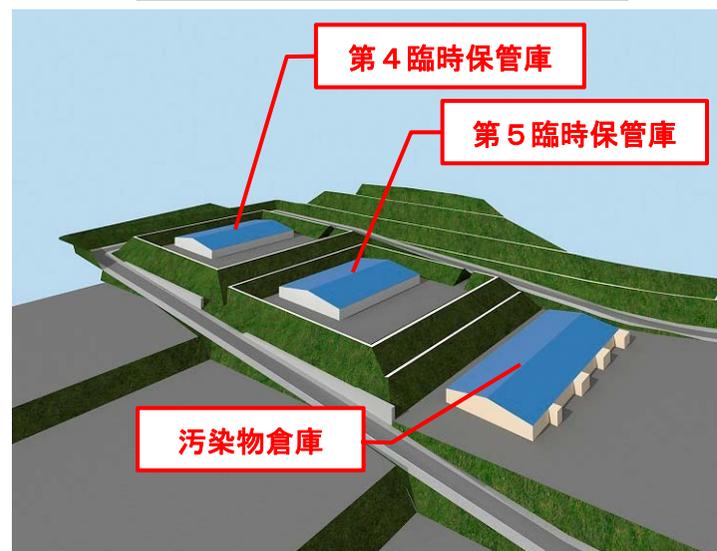
□ : 冬期(12月~3月)(現地における工事は原則として中断)

建設中の施設（発掘・回収関連）

発掘・回収施設イメージ図



臨時保管庫・汚染物倉庫イメージ図



1号発掘棟建設予定地(11月)



2号発掘棟建設予定地(11月)



回収棟建設予定地(11月)



1号坑: 上面11m×24m×高さ4m。体積497m³

2号坑: 上面10m×20m×高さ2.5~3.5m。体積247m³

建設中の施設

汚染物倉庫(11月)



臨時砲弾保管庫(11月)



警備棟(9月)



管理棟(11月)



管理用道路拡幅(10月)



ハルバ嶺に導入する遺棄化学兵器試験廃棄処理施設の進捗

【試験廃棄処理場進捗状況】

- ・ 試験廃棄処理設備収納庫設計図作成中。
- ・ 試験廃棄処理設備設置予定地場内道路建設完了。

【試験廃棄処理設備製作状況】

【制御爆破方式】 現在国内倉庫に保管中。収納庫建設の進捗状況に合わせて輸送。
【加熱爆破方式】 製作中。



平成24年度以降の予定

○施設・インフラの完成

- 管理棟の分析・医療等設備の設置
- 管理用道路の舗装
- 電力設備の増設工事
- 通信設備の増設工事

○発掘・回収事業

- 発掘・回収施設の完成、設備の設置

本格発掘回収の開始

○試験廃棄処理事業

- 処理設備収納庫の施工
- 処理設備の設置

試験廃棄処理事業の開始

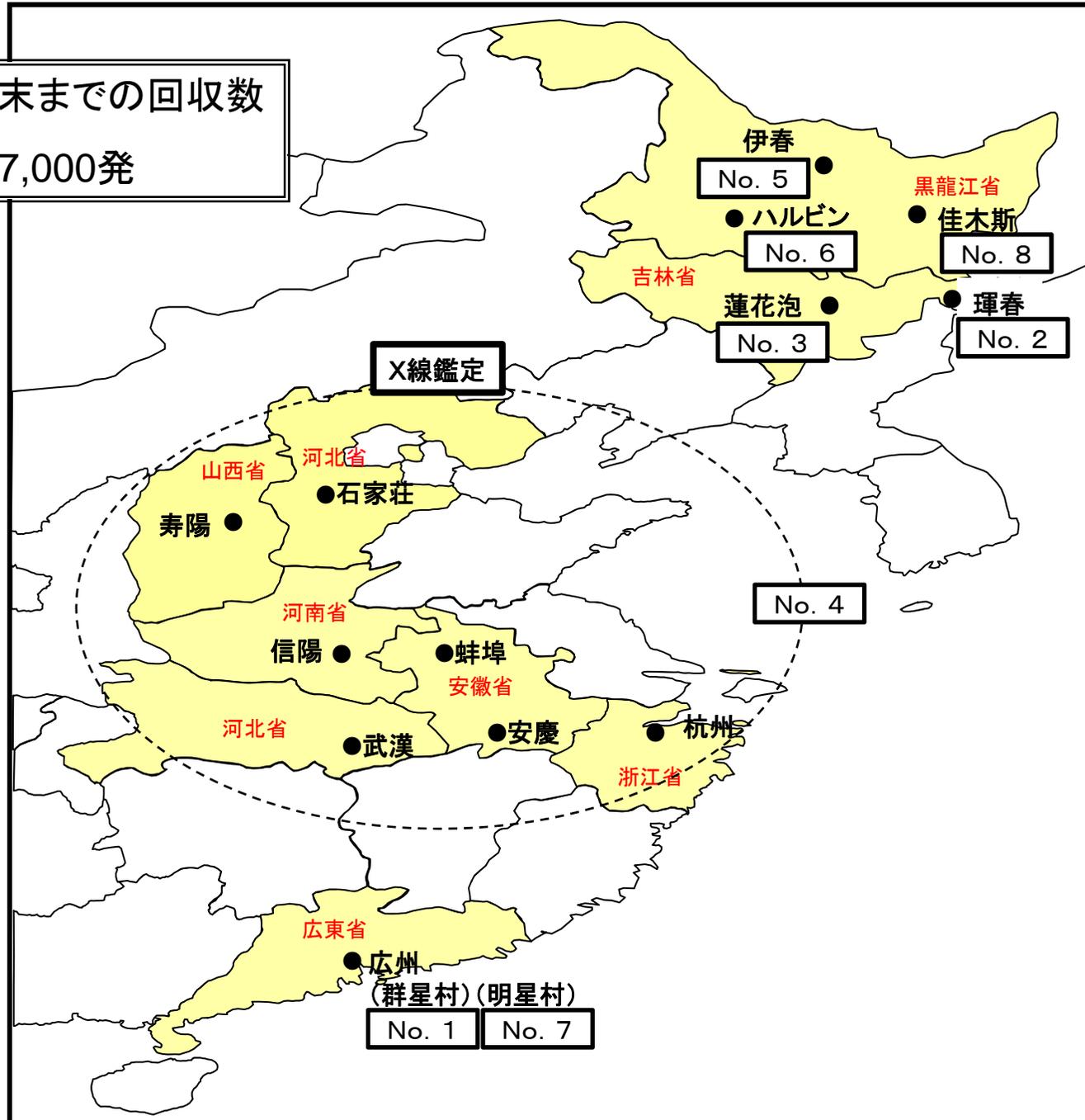
中国各地での発掘・回収事業について



平成24年2月23日(木)
第9回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

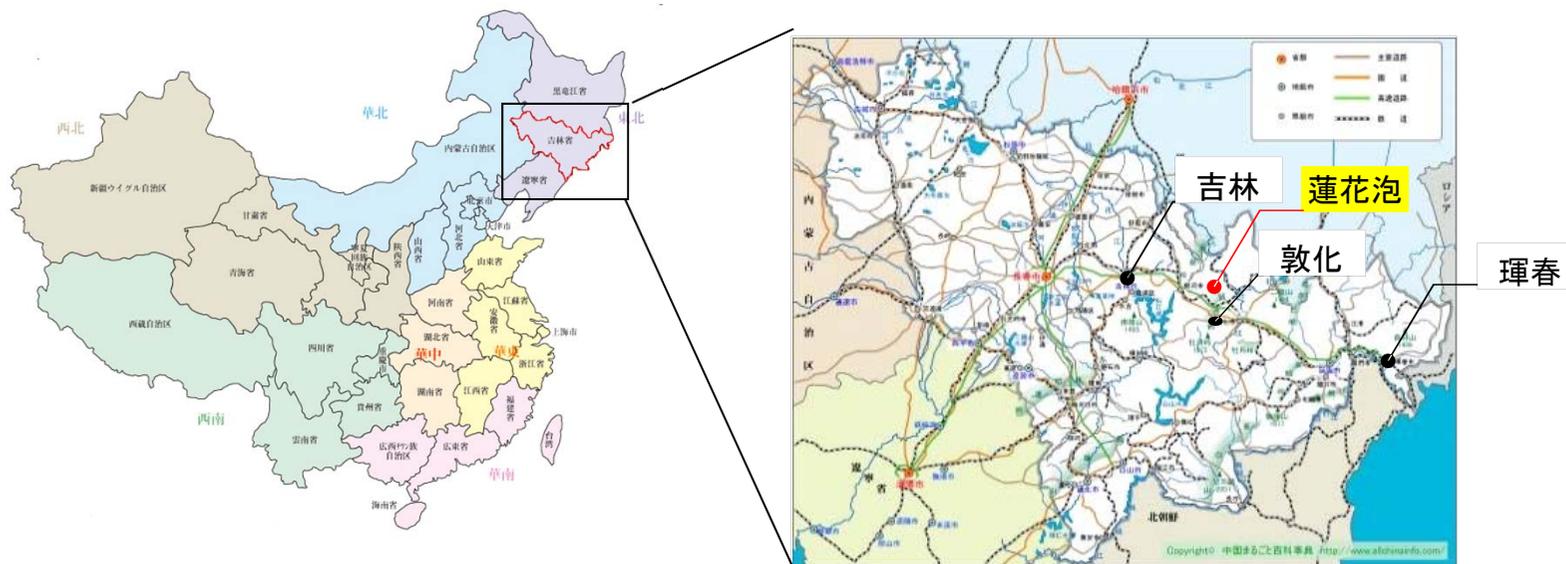
2011年度中国各地域の発掘・回収事業実施箇所

2012年1月末までの回収数
約47,000発



No.3

敦化市(蓮花泡)発掘・回収事業

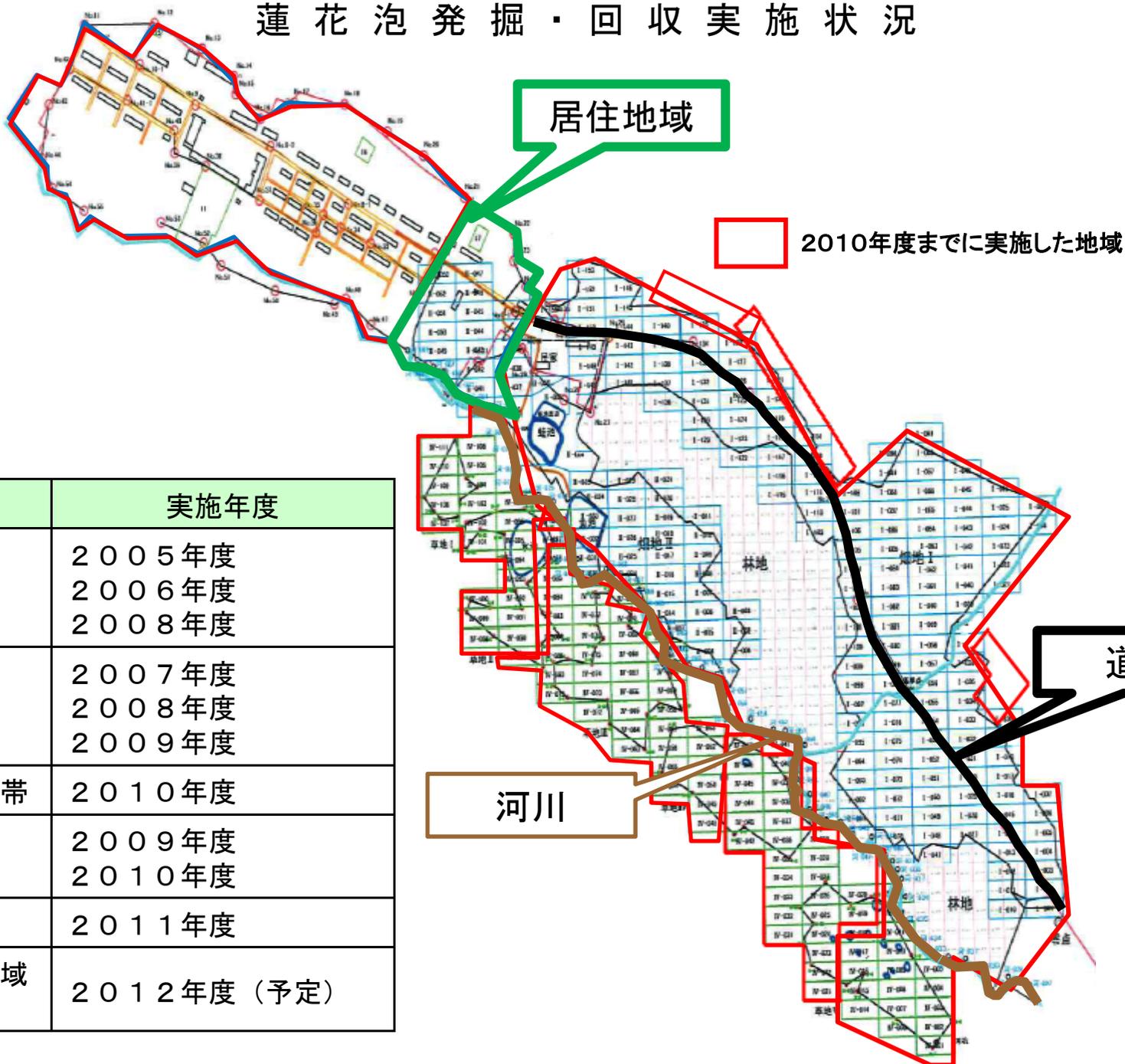


- 第11次事業(居住地域その1、2、3、4)
- 6月28日～ 7月29日(居住地域その1)
- 7月26日～ 8月24日(居住地域その2)
- 8月30日～ 9月28日(居住地域その3)
- 10月13日～11月15日(居住地域その4)
- 居住地域166区画(約13ha)中125区画を完了
- 砲弾等230発を密封梱包
- 41区画未完了



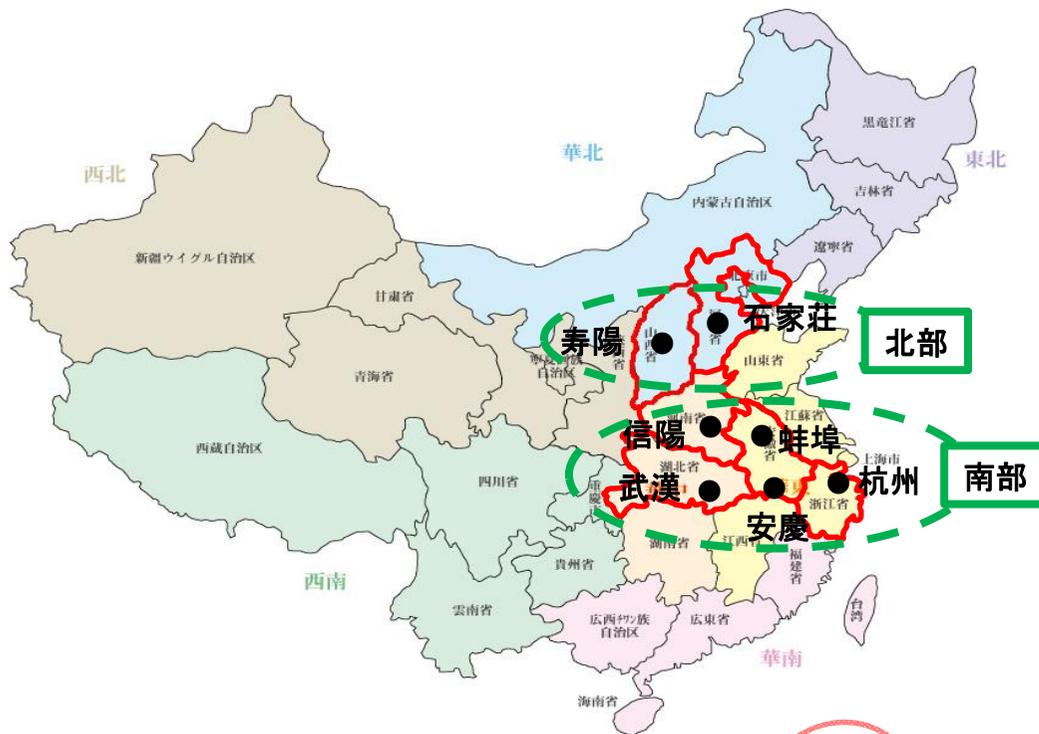
次年度、居住地域の未完了区画、道路、河川を実施し、蓮花泡事業を終了する予定

蓮花泡発掘・回収実施状況



区分	実施年度
畑地	2005年度 2006年度 2008年度
林地	2007年度 2008年度 2009年度
畑地境界地帯	2010年度
草地	2009年度 2010年度
居住地域	2011年度
一部居住地域 河川・道路	2012年度 (予定)

回収事業(X線鑑定等)



北部回収事業(X線鑑定)(石家荘、寿陽)

11月14日～22日

- 石家荘保管庫に保管されていた砲弾の内、X線鑑定が必要な19発を鑑定
- 寿陽保管庫に保管されている砲弾の内、梱包が必要な3発を密封梱包

南部回収事業(X線鑑定等)(蚌埠、信陽、武漢、安慶、杭州)

7月7日～30日

- 蚌埠、信陽、武漢、安慶、杭州保管庫に保管されている27発を鑑定

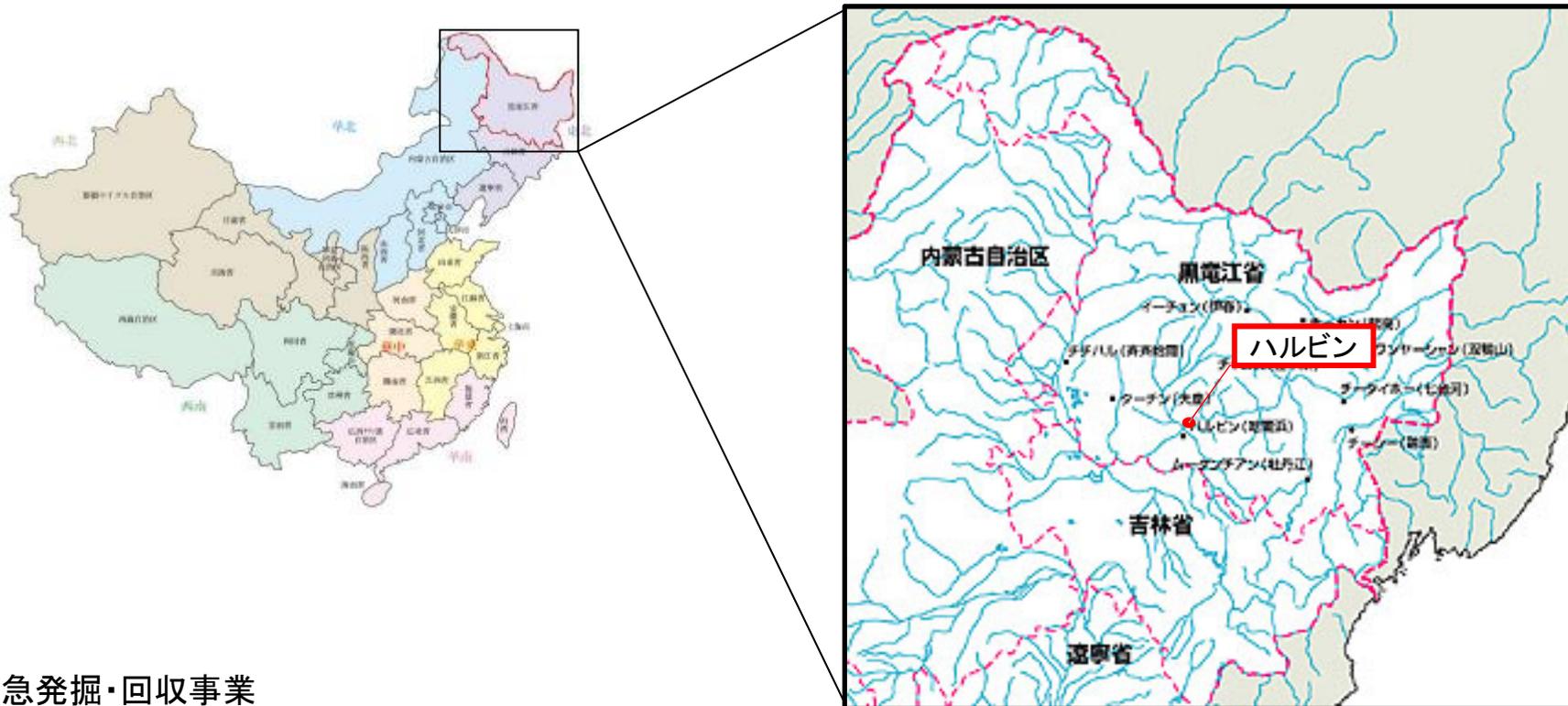
次年度、広東省、広西チワン族自治区、山西省、吉林省の鑑定事業を実施する。



X線鑑定

No.6

ハルビン市発掘・回収事業



緊急発掘・回収事業

10月12日～11月1日

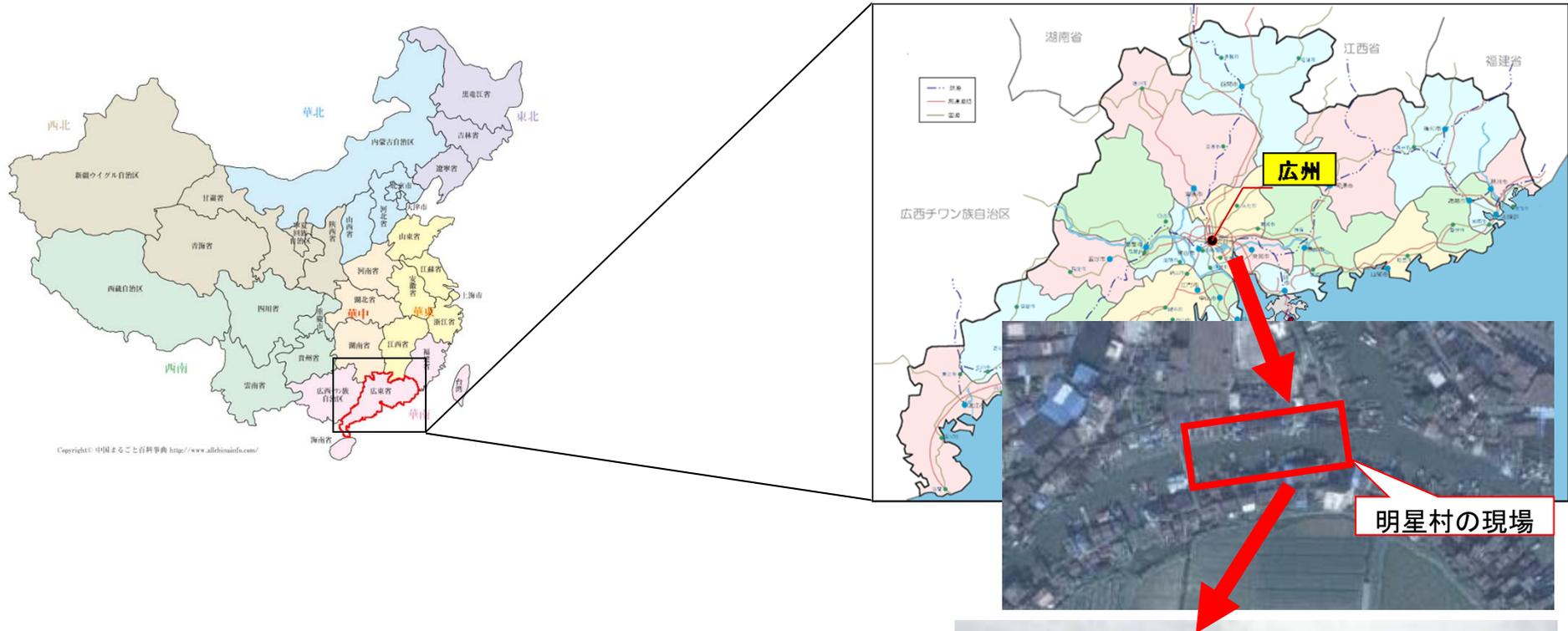
- 工場敷地内の発掘・回収
- 砲弾等49発を密封梱包

本事業は、終了



No.7

広州市(明星村)発掘・回収事業



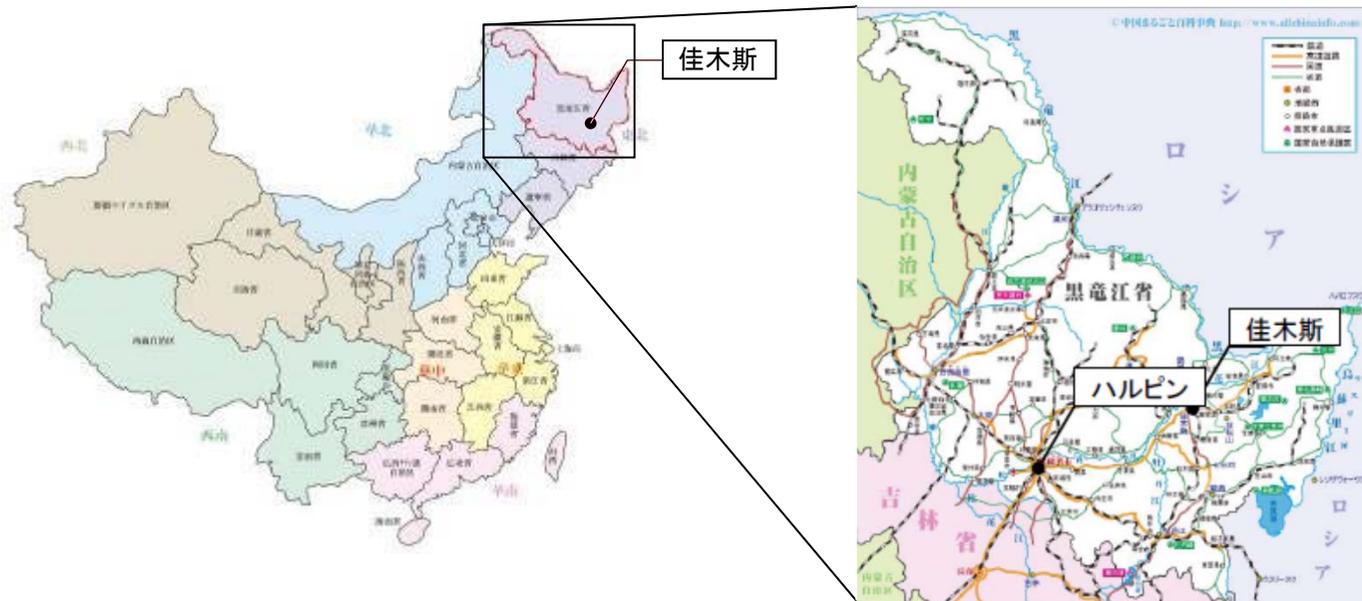
発掘・回収事業

- 1 現在、止水壁工事を実施中
平成24年3月9日に工事終了予定
- 2 止水壁工事終了後、3月14日～4月30日の間で、
発掘・回収を実施する予定



No.8

佳木斯市事業

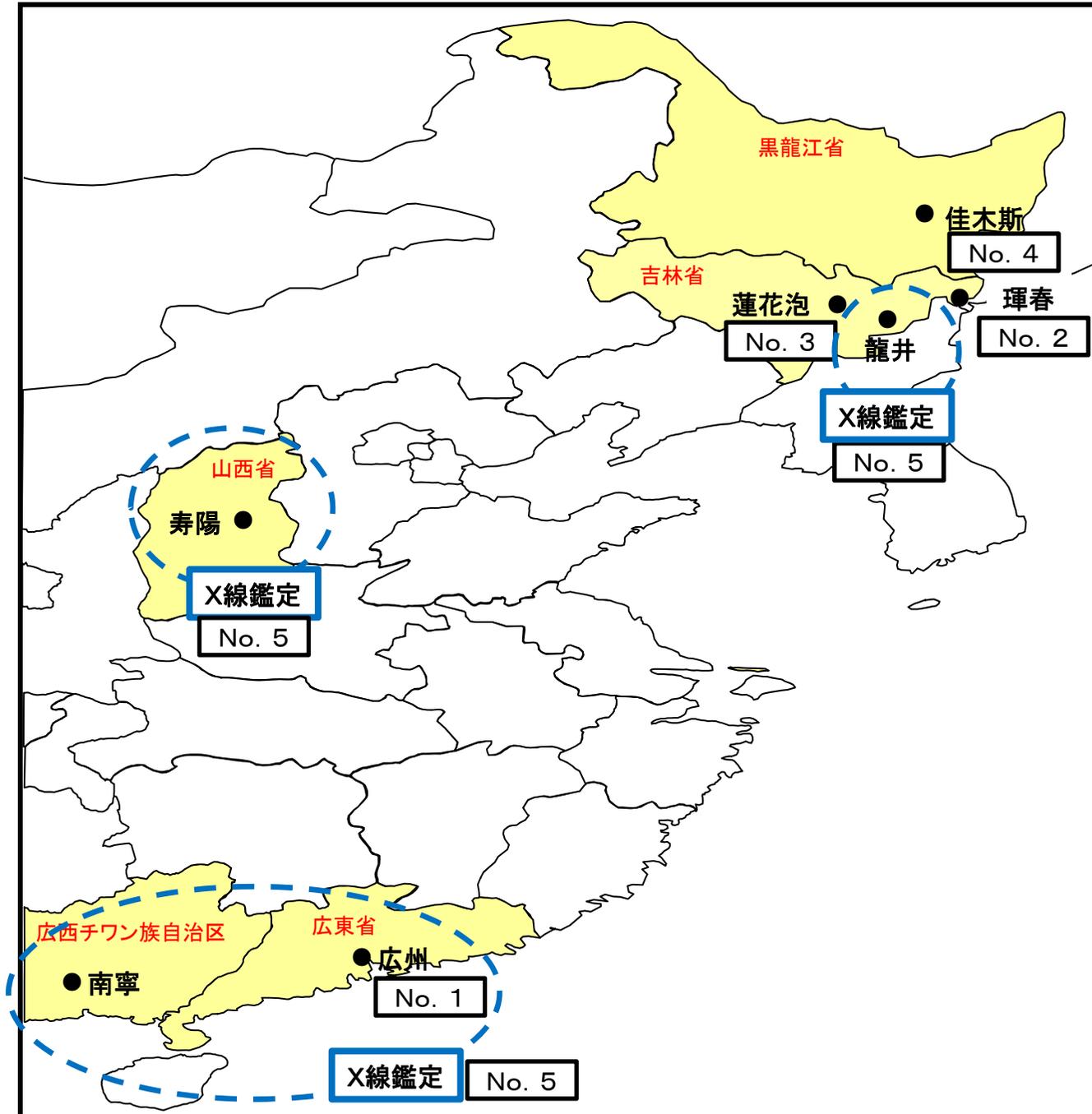


現場地図



- 1 現在の状況
 - (1) 11月に止水壁工事の工法検討に必要な地形、地質等の基礎情報調査を終了
 - (2) 基礎情報調査結果に基づき、適用する止水壁の工法を検討中
- 2 今後の予定
 - (1) 3月末までに、安全、コスト等から最良の止水壁工法を決定するとともに、全体構想を策定
 - (2) 24年度から、発掘回収実現に向け、工事基本設計等を実施していく予定

2012年度中国各地域の発掘・回収事業実施箇所



2012年度中国各地域の発掘・回収事業実施予定

No.	年月 事業	2012年									2013年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	広州市 (明星村)	←→		←→ 復旧工事									
2	琿春	←→ 道路造成					←→ A地区(その1)						
3	蓮花泡	←→ 居住地域(その5)		←→ 道路(その1)			←→ 道路(その2)						
4	佳木斯	←→ 工事基本計画の作成、基本設計等											
5	X線鑑定		←→ 北部(寿陽、龍井)						←→ 南部(広州、南寧)				
【凡例】													
日中共同実施 :		←→											
中国側へ依頼 :		←→											

※ 各事業は、時期・期間等を変更することがある。

平成24年度遺棄化学兵器廃棄処理事業 に係る予算（案）について



平成24年2月23日(木)
第9回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

平成24（2012）年度 遺棄化学兵器廃棄処理事業に係る予算（案）のポイント

1 事業の進ちょく等を踏まえつつ、事業を進める上で必要な経費を要求

平成24(2012)年度予算(案)	平成23(2011)年度予算額	対前年度増△減額	対前年度増△減比率
20,787百万円	21,922百万円	△1,135百万円	△5%

※ 平成22(2010)年度 当初予算額 18,362百万円 執行額 13,595百万円

2 概算要求の主な内容

廃棄処理事業運営費	1,696百万円
業務委託等に必要な経費。	
ハルバ嶺事業等関連経費	7,719百万円
吉林省ハルバ嶺における発掘・回収及び試験廃棄処理設備の運転等に要する経費。	
その他各地事業関連経費	11,103百万円
<ul style="list-style-type: none"> ・中国各地において発見される遺棄化学兵器の発掘・回収等に要する経費。 （吉林省敦化市蓮花泡^{レンカホウ}、広東省広州市、黒龍江省佳木斯市^{ジャムス}等） ・移動式処理設備による廃棄処理に要する経費。 （南部：湖北省武漢等 北部：河北省石家荘^{セツカソウ}等） 	

平成24（2012）年度 遺棄化学兵器廃棄処理事業に係る予算（案）

（単位：千円）

	平成23(2011) 年度予算額	平成24(2012) 年度予算(案)	比較増△減額
廃棄処理事業運営費	1,769,633	1,696,478	△73,155
ハルバ嶺事業等関連経費	9,937,745	7,718,573	△2,219,172
その他各地事業関連経費	9,963,559	11,103,178	+1,139,619
事務費	251,449	268,768	+17,319
合 計	21,922,286	20,786,997	△1,135,389

化学兵器禁止条約 廃棄期限問題について



平成24年2月23日(木)
第9回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

化学兵器禁止条約 廃棄期限問題

1997年4月29日
化学兵器禁止条約発効

- 廃棄期限は10年(2007年4月29日まで)。
- 米・露が保有するいわゆるストックパイル化学兵器は締約国会議決定により最大15年まで延長可能。遺棄化学兵器については、OPCW執行理事会決定により期限変更可能。

2006年7月
化学兵器禁止機関
(OPCW)執行理事会決定

主な決定内容

- 廃棄期限を2012年4月29日に延長する。
- 90日毎の進捗状況報告。
- 廃棄完了まで、日中は年次計画及び年次報告を提出する。

2012年2月
OPCW
執行理事会
決定

今回(2012年2月)の主な決定内容 【廃棄期限(2012年4月29日)以降の事業】

- 条約の関係規定に従い、廃棄期限後も廃棄処理を継続することを再確認。
- 日中が共同で提出した廃棄計画(※)により廃棄を継続することを決定。
- 執行理事会毎の進捗状況報告。

※廃棄計画の内容

1. 移動式廃棄処理設備

可能な限り2016年中の廃棄完了の目標。

2. ハルバ嶺

発掘・回収及び廃棄作業は、早くて2012年中に開始。右開始後3年以内を目途として廃棄計画を作成。それまでの間、2022年中の廃棄完了を目指して最善の努力を払う。

3. 既に確認されOPCWに申告される予定の遺棄化学兵器及び今後確認され得る遺棄化学兵器の廃棄

日本政府は、条約に従って、遺棄締約国として負っている義務を誠実に履行する(黒龍江省佳木斯、吉林省琿春、同省蓮花泡、広東省広州等)。

4. 協議

事業の進捗状況に応じて、廃棄完了の目標時期を含む関連事項について協議を行う。